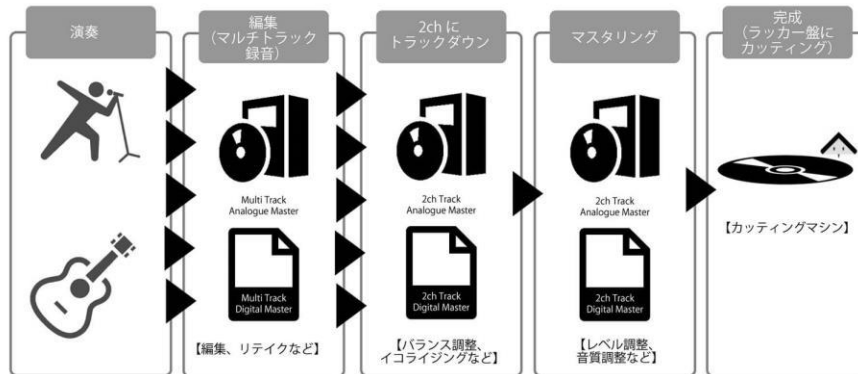
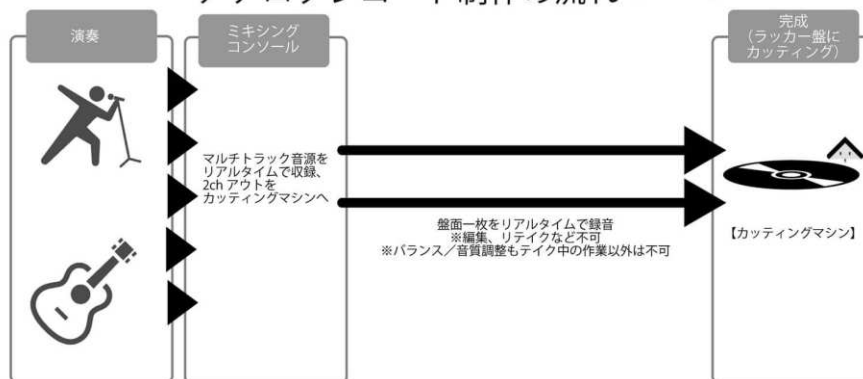


## 一般的なアナログレコード制作の流れ（イメージ）



## ダイレクトカッティング アナログレコード制作の流れ（イメージ）



よって演奏者には通常のレコーディング以上の集中力が求められ、レコーディング・エンジニアにはその場で最高の音にまとめ上げる技量が求められる。カッティングエンジニアにとっては、その場で繰り広げられる二度とできないジャズの即興演奏を音の劣化なくラッカー盤に刻むため、録音中はカッティングマシンと極限状態で対峙しなければならない。

現在ではこうした録音・制作環境は数少なくなっている。言ってみれば関係者のみが経験できる限定空間であった。それをライブ配信することによって、誰でもその生々しい瞬間を目撃できる得難い機会を提案できることとなった。

ライブ配信をすることで、演奏者と録音スタッフのヴォルテージがマックスとなり、最高の結果が生み出されることが期待される。そしてライブ配信を行った日本初のダイレクトカッティングレコードが誕生・発売されることになる。